

村上委員（ひろしま令和）

令和3年3月11日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）専門高校における連携プロジェクトについて

スマート農業の推進などを考えると、農林水産局との連携だけではなく、IT企業やひろしまサンドボックスとの連携や支援、具体的には老朽化した施設のインフラ整備による投資なども視野に入れ、商工労働局との連携プロジェクトが必要だと思うが、教育長の認識を伺う。

（答）

専門高校では、卒業後の産業現場で必要な資質・能力を身に付けさせるため、産業界と高等学校とが一体となった教育活動を実施することが重要であることから、県教育委員会といたしましては、関係部局や関係機関等と連携を図り、各学校の支援に努めているところでございます。

こうした中、例えば、沼南高等学校におきましては、地元企業と連携し、自校で生産したブドウを用いたワインを開発するほか、油木高等学校におきましては、耕作放棄地を活用してナマズの養殖を行い、地元企業と協力して地域の特産品として販売するなど、地元の産業界と一体となった取組を行っているところでございます。

県教育委員会といたしましては、産業の高度化や複合化が進行していることから、農林水産局はもとより、商工労働局等の関係部局や産業界と密接な連携を図り、次代の産業を担う人材の育成が図られるよう、取り組んでまいります。